

樫谷議員 みなさん、おはようございます。通告していました3点について質問します。まず1つ目の命を守る東の堤防の進捗状況はについてお聞きします。6月議会で質問しました東の堤防、南海・東南海巨大地震を踏まえ、町民の命を守るという観点から急務を要します。勿論これは県の事業で、県の港湾の仕事であることも分かっていますが、当時、県のお話では、近隣の町民、また、東漁協、西漁協と話し合いを設けるということでしたが、その話し合いができたのでしょうか。また、県の今後の計画はどのように進んでいるのかお聞きします。最近の地球温暖化に伴う、豪雨災害、異常気象にも備えて、南海トラフ巨大地震の来る前に、早期の堤防整備をお願いするものです。そのため牟岐町として県への要望はどうすべきか。また、今後の県との交渉はどうなるのか。県の答えはどうかお聞きします。次に、今回の不祥事を踏まえ、今後の課題は。近年に起こりました職員の不祥事、「広報むぎ」に記載されまして、町民の知るところとなりました。そのため町民の職員への不信感、議会への不信感が募り、連日怒りの声をあげられました。しかし、課長がそこまで把握できたのでしょうか。起きてしまったことは仕方がないが、今後、起きないようにするにはどうすべきか、話し合いができたのでしょうか。お聞きします。私からの提案としまして、まず今後の取り組みとしまして、1つ目に職場内の各担当部署の横との連携を密に何でも話し合える職場環境づくりに取り組んでいただきたい。2つ目に上司とのいつでも相談できる環境と場づくりに早急に取り組んでいただきたい。このことについて、町長の見解をお聞きします。次に、タイムカードの設置を。ハンコ式の作業をタイムカードにする。この職員がいつ出勤し、いつ帰ったのかひと目でわかる。また、1か月、1年とトータルすることもできる。ハンコで分かりますか。たぶん、ハンコでは、この職員がいつ入って、いつ帰ったかというのは分からないと思います。課長には、たくさんの仕事があり、その上の目配せできますか。一つでも軽くしましょう。そのためのタイムカードの設置を要望するものです。以上、3点について答弁をお願いします。

一山議長 枳富町長。

(枳富町長 登壇)

枳富町長 樫谷議員ご質問の「命を守る東の堤防の進捗状況について」のご質問にお答えします。樫谷議員ご指摘の大川橋より東の堤防については、徳島県管理の牟岐漁港の

海岸保全施設となっています。当該施設を含む牟岐漁港については、平成14年度から、順次、南海地震の津波対策として、護岸工事、水門及び防波堤の整備、臨港道路の整備や岸壁の耐震化などが実施されてまいりました。徳島県へ今後の進捗見込を問い合わせたところ、当該施設は、「徳島県海岸保全基本計画」において、避難時間を確保するために必要な堤防等の高さを整備する「段階的な施設整備」を進める箇所として選定されていること。また、ご指摘の施設は、牟岐漁港海岸「牟岐地区」の整備計画として、すでに採択済みの地区内にあり、地区内の一部は陸閘が完成していること。ただし、ご指摘の牟岐川左岸側の区間につきましては、現時点では具体的な整備時期は決まっておらず今後、着手時期・構造を含めて総合的に検討していく予定とのことです。また、同区域は、施設背後に住宅が迫っており単純に堤防幅幅ができない地域と考えており、施設位置の変更も含め、計画段階から十分な検討が必要との回答がありました。引き続き、牟岐町としましては、徳島県と共に、地元の自治会や漁協をはじめ、関係者と協議を進めるとともに、県が実施中の漁港事業の進捗も見据えつつ、ご指摘の海岸施設の早期事業着手に向けて、県へ要望してまいりたいと考えています。次に、今回の職員の不幸事を踏まえ、今後の課題はのご質問についてお答えします。まず初めに、職員の不幸事につきまして、町民のみなさまに多大なるご迷惑をおかけし、町政に対する信頼を著しく失墜させる事態となりましたこと、心からお詫び申し上げます。また、議員各位におかれましても、町民の方々への対応等、ご迷惑をかけ、誠に申し訳ございませんでした。現在は、再発防止に向けて公務員としての倫理の確立、服務規律の順守と綱紀粛正の徹底を図っています。議員ご指摘の職場環境づくりへの取り組みについて、お答えします。まず各担当部署の横との連携についてですが、各課共通の課題が発生した場合は、ミーティングなどを通して情報供給をし、相談のできる体制が構築されていると認識しています。上司と相談できる環境と場づくりにつきましては、職員に各種研修の受講をすすめています。中でも管理職が受講する快適な職場づくり研修は、職員が元気で安全に働ける職場環境づくりに向けて、大変有効であったと聞いています。また、職員同士が相談できる環境をつくる上で、最も大切なものは、普段の交流であると思っています。近年、職員の勤務時間外での行動は、多種多様化し、依然と比較すると共通の趣味も少なくなり、コロナの影響も大きく、職員間の交流は少なくなっているように感じています。コミュニケーションを図るには、難しい時代に突入していると思いますが、職員お互いが相手をよく見て状況を感じ取り、相手を思いやることで、今まで以上に相談できる職場ができるのではないかと思います。そのような職場づくりに向けて職員みんなが意識

共有を図れるよう努めてまいります。タイムカードの設置につきましては、総務課長より答弁させていただきます。よろしくお願いいたします。

一山議長 田中総務課長。

(田中総務課長 登壇)

田中総務課長 私からは、榎谷議員のタイムカードの設置についてのご質問についてお答えします。現在、牟岐町では、押印により出勤管理を行っています。そのため、この6月議会で藤元議員の一般質問にお答えしたように、所属長である課長は目視により課員の出勤状況を管理している状況です。議員ご指摘のとおり、押印のため正確な出勤時間や退勤時間の把握はできていない状況です。そのような中、令和4年度より機構改革により、デジタル推進課を立ち上げ、職員の業務の効率化とデジタル化を目指してまいりました。今後は、所属長である課長などが行う勤務管理への効率化とデジタル化を勘案し、ご指摘の出退勤管理だけでなく、時間外勤務や休暇の管理をする勤怠管理、新庁舎でのサーバ室等の入退室管理など、ICカードを利用した一体的なシステムを整備し、職員の時間外勤務状況や休暇の管理など容易にするなど、実態把握見える化による改革を推進するため、導入の方を検討してまいります。以上です。

一山議長 榎谷議員。

榎谷議員 再問します。命を守る東の堤防の進捗状況について、このことについて町長より詳しい答弁をいただきましたけども、今後において県にどのようにしていくのか、それをお聞きしたいと思います。県から答申があったら必ずこうだったということを知らせてほしいのです。今後、どういうふうに行くのか。もしそれが、県ができないようであれば、陳情、議員ならびに陳情というふうな形も取ってもいいのではないかと思います。というのは、その仕事ができない場合は、亡くなるのは県の職員ではありません。県の人でもありません。牟岐町の町民が命を失うのです。そこをよく考えて、もしその工事ができなかったときに、津波が来た場合には、牟岐町の一般の町民がどれぐらいの被害が起きるか、そういうことを考えたら何十人ではないと思います。何百人だと思います。その人の命を守る上でも、一刻も早い事業開始をしていただきたい。その

ように思うのです。県は何日、何日までで凄く時間がかかるのです。工事に入るまで、また、時間がかかるのです。それでは間に合わないと思うので、それを一刻も早くしていただくためにどうしたらよいのかということで、議員はじめ陳情ということも踏まえて考えていただきたいと思います。2つ目に不祥事を踏まえ、今後の課題はということについては、いろいろお話し合いができたようですので、今後、こういう不祥事がないと思います。とりあえず、横との連携、縦との連携、これを密にさせていただいて、コロナの関係で、会ももうけられない状態ですので、難しいと思いますけれども、だけど、大事なことだと思しますので、今後も進めていただきたいと思っています。それと、タイムカードの設置、このことについては、もう設置しないのですね。I Cを使っていただいて、I Cから把握するということですね。タイムカードを置かないということですね。タイムカードの代わりにI Cを置くということですね。I Cカードを持っていただいて、I Cカードでチェックすると、それで十分チェックができるということですね。町長がいつ出勤して、いつ帰ったかということも、それで全部わかるのですね。以上について再問します。よろしくお願いします。

一山議長 久産業課長。

(久産業課長 登壇)

久産業課長 榎谷議員の再問についてお答えします。まず県民局の漁協担当と連絡を密にして、主に予算付けにつきましては、本庁の漁協担当になると思いますが、話し合いも密にできていますので、また、進捗状況とか、また、遅くなるようでしたら、また、議員のみなさんのお力、また、各自治会とか漁協の力をお借りしながら要望の方も行きたいと考えていますので、そのときはよろしくお願いします。以上です。

一山議長 田中総務課長。

(田中総務課長 登壇)

田中総務課長 再問がありました、タイムカードの関係なのですが、デジタルによるI Cカードを作りまして、庁舎に入って来るときにピッと通したら時間がわかるなど、

そういうデジタル化した、昔のカシヤンと入れるようなタイムカードではなく、パソコンとかカードとか、そういったデジタル化での出勤管理の方を、今後、デジタル推進課の方と連携しながら進めていきたいと、そのように考えています。以上です。

一山議長 榎谷議員。

榎谷議員 再問の答弁ありがとうございます。命を守る堤防の進捗状況についてのことですが、もし県との話し合いができないのであれば、議会とも要望に行くということも頭において、もし事業が進まないのであれば、そういうことも考えておいていただきたいと思います。また、職員の不祥事については、今後、そういうことが一切ないように、横の連携、縦の連携、これを密にさせていただきまして、いろんな点でコミュニケーションを取れるような形でやっていただきたいと思います。以上で私の一般質問を終わります。